

明石市水道事業中期経営計画 令和3年度進捗状況報告について

明石市水道事業経営戦略（平成29年度～令和8年度）の実行計画である明石市水道事業中期経営計画（令和3年度～令和8年度）（以下「中期経営計画」という。）について、令和3年度の進捗状況がまとまりましたのでその内容を報告します。

1 進捗状況

中期経営計画に掲げた実現方策（10方策）の令和3年度における進捗状況は、「極めて良好」が2件、「概ね良好」が8件となり、すべての計画が概ね順調に進捗しています。

基本方針 [3]		施策目標 (6)	実現方策 《10》	評価
安全	[1] 安全・安心な水の供給	(1) 浄水水質の適正管理	《1》各浄水場の水質管理	極めて良好
		(2) 給水装置等の適正管理	《2》貯水槽水道設置者への助言	概ね良好
			《3》鉛製給水管の解消	概ね良好
強靱	[2] 災害に強い水道の構築	(3) 災害に強い水道システムの構築	《4》老朽管更新及び耐震管路網の整備	概ね良好
			《5》バックアップ機能の強化	概ね良好
持続	[3] 事業運営基盤の強化	(4) 広域連携の推進	《6》新規水源の開拓	概ね良好
		(5) 水道施設の効率的再構築	《7》魚住浄水場の再整備	概ね良好
		(6) 経営基盤の強化	《8》料金水準・料金体系の妥当性の確認	概ね良好
			《9》水道料金収納率の維持	概ね良好
			《10》民間活力の活用	極めて良好

2 経営状況

(1) 給水人口と配水状況

令和3年度は、給水人口の増加傾向が続いたことから、一般家庭（量水器口径20mm）の使用水量は微増しましたが、それ以外の使用水量は概ね横ばい又は微減となったため、全体の配水量及び有収水量は減少傾向が続いています。

	R2 決算	R3 決算	R3 計画
給水人口（人）	299,602	304,088	300,237
1日平均配水量（m ³ /日）	89,130	89,039	86,431
年間総配水量（千m ³ /年）	32,532	32,499	31,515
年間有収水量（千m ³ /年）	31,776	31,370	30,601

(2) 収益的収支

収益的収支については、当年度純利益が計画より約1億8,600万円増加し、約6億3千万円となりました。その理由は、収益的収入をほぼ計画どおり確保でき、収益的支出のうち、人件費、維持管理費（委託料、修繕費）を計画よりも削減できたことなどによります。

（税抜・千円）

年 度		項 目	R2	R3	
			決算	決算	計画
収益的 収支	収入	料金収入	4,344,400	5,041,718	5,068,375
		施設分担金	324,125	204,520	198,538
		他会計補助金	44,329	44,680	42,205
		長期前受金戻入	456,846	461,120	433,496
		特別利益	117	1,552	0
		その他	239,393	191,820	197,144
		計	5,409,210	5,945,410	5,939,758
	支出	人件費	428,889	414,414	440,583
		維持管理費 ※)	1,797,643	1,851,639	1,929,657
		受水費	787,209	1,078,411	1,081,440
		減価償却費	1,657,096	1,632,568	1,640,924
		支払利息	156,282	139,013	140,170
		特別損失	3,260	2,568	2,700
		その他	270,987	194,108	258,180
	計	5,101,366	5,312,721	5,493,654	
当年度純損益			307,844	632,689	446,104
繰越利益剰余金(△累積欠損金)			123,995	126,684	235,520

※) 維持管理費＝動力費+薬品費+修繕費+委託料+路面復旧費

(3) 資本的収支

資本的収支については、各施設の整備・更新計画に基づき、老朽管の更新を図るとともに、水道施設・設備の機能保全、改良工事を概ね計画どおり実施し、財源の一部には新たに企業債を発行して充当しましたが、企業債発行額が計画を下回ったことから、企業債残高は計画より減少しています。

なお、資金残高はほぼ計画通り確保できています。

（税抜・千円）

年 度		項 目	R2	R3	
			決算	決算	計画
資本的 収支	収入	企業債	120,000	345,700	800,000
		他会計負担金	18,138	32,155	40,000
		国庫補助金	0	0	0
		その他	337,517	9,102	7,086
		計	475,655	386,957	847,086
	支出	建設改良費	1,045,326	1,186,977	1,538,319
		うち事務費	62,705	58,853	60,988
		企業債償還金	703,312	712,741	712,742
		阪水加入負担金	0	0	0
		その他	0	0	0
		計	1,748,638	1,899,718	2,251,061
収支差額			-1,272,983	-1,512,761	-1,403,975
企業債残高			7,019,061	6,652,020	7,106,319
補填財源繰越額（資金残高）			5,140,230	5,471,972	5,451,634

3 今後の取組み

令和4年度以降も中期経営計画に基づき、下表に示す取組を進めます。それらの取組については毎年度、進捗管理及び計画と実績との乖離検証並びに必要な見直しを行うことにより、水道事業の健全経営に繋がります。

基本方針	施策目標	取組内容
安全	浄水水質及び給水装置等の適正管理	水質基準に適合した安全・安心な水道水を市民に供給するため、引き続き取組を進めます。
強靱	災害に強い水道システムの構築	老朽管更新については、管路整備全体の中で優先的に更新すべき管路を中心に整備を進めていきます。
		バックアップ機能の強化策として、東部配水場における2系統受水確立のため、中部配水場から東部配水場までの連絡管の整備を行います。
持続	広域連携の推進	阪神水道企業団からの新規受水にあたり、神戸市水道局の配水場まで単独送水管を整備するとともに、引き続き関係機関との協議を進めます。
	水道施設の効率的再構築	魚住浄水場の再構築については、令和8年度の整備完了に向けて、改築更新を進めます。
	経営基盤の強化	水道事業経営の根幹である料金収入を確保するため、料金の妥当性の検証を行うとともに、引き続き確実な料金の収納に取り組みます。また、民間活力を活用しながら、業務の効率化にも努めます。